

(財)茨木市文化振興財団第126回公演

言の葉コンサート

稀代の名優・玉三郎がおおくりする

“泉鏡花・幻想の世界”

朗読と音楽で綴る

言の葉コンサート!

「鏡花幻想」

[朗読作品]

泉鏡花 作

海神別荘

天守物語

夜叉ヶ池

(いずれも抜粋)

[朗読]

坂東玉三郎

[ハープ演奏]

朝川朋之

平成23年

8/4

[木]

19:00開演 (18:30開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726 / JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

[全席指定] 1階席 4,000円 / 2階席 3,500円 ◎65歳以上、障害者及びその介助者は500円引き

◎青少年(24歳以下) 1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いには財団のみ)

※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください

◆チケットのお申込み・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団・事業係 072-625-3055 (茨木市市民会館ユアアイホール1階 9:00~17:00)

財団の発売初日は電話予約のみです。チケットの引取り・窓口販売は翌日から下記のチケットカウンターで
ユアアイホール 9:00~20:00(土日祝は17:00まで) / クリエイトセンター 9:00~17:00

◆その他プレイガイド(初日店頭販売あり)

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約 0570-084-005(Lコード 59733) *ローソン各店舗で直接購入可

電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 411-532) *サンクス、サークルK、セブンイレブン各店舗で直接購入可

◆主催:(財)茨木市文化振興財団 ◆後援:茨木商工会議所 / 茨木市観光協会 ◆制作:Deux Design

坂東玉三郎が所属する(株)BTAの収益金は、義援金としてすべて寄付させていただきます。

坂東玉三郎

朗読公演

5月9日(月) 9:00
電話予約開始

残席がある場合は翌日から
窓口販売いたします

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

言の葉コンサート

(財)茨木市文化振興財団第126回公演

◆8月4日[木] 19:00/茨木クリエイトセンター・センターホール

坂東玉三郎

朗読公演

「鏡花幻想」

坂東玉三郎 (五代目) 屋号 大和屋

ばんどう・たまさぶろう/朗読

歌舞伎界の立女形。1956年十四世守田勘弥の部屋子となり、翌年坂東喜の字を名乗り「寺子屋」の小太郎役で初舞台を踏む。64年歌舞伎座にて五代目坂東玉三郎を襲名。「椿説弓張月」の白縫姫、「桜姫東文章」の桜姫などを演じ注目を集め、以後、立女形として次々と大役を演じている。海外公演も82年から3度のアメリカ公演をはじめ、パリ、ブラスェル、東ベルリン、ドレスデン、ウィーン、ロンドン、台北などで好評を博してきた。88年にはヨーヨー・マらの演奏によるラヴェルの「ピアノ三重奏曲」で創作舞踊を上演。その後ヨーヨー・マとはバッハの「無伴奏チェロ組曲」を映像収録した「希望への苦闘」でも共同作業を行った。同作品はリヨンで行われた「ダンススクリーン96」でグランプリを受賞した。歌舞伎への出演に並行し、86年の「ロミオとジュリエット」以降演出も手がけ、「なよたけ」、「黒蜥蜴」、「海神別荘」などの作品で実力派の演出家としての評価を得ている。91年には、「外科室」を初監督。続いて「夢の女」がベルリン映画祭の正式出品作品となっている。95年には、監督・主演作品の「天守物語」が話題となる。俳優としても、ワイタ監督「ナスターシャ」(映画版)、ダニエル・シュミット監督「書かれた顔」などにも出演、世界各国で上映された。

朝川朋之

あさかわともゆき/ハーブ

幼少時より、ヤマハの音楽使節として海外に度々派遣される。東京芸術大学音楽学部付属高校を経て、同大学音楽学部作曲科、及び別科オルガン専修卒業。在学中より映画、TVドラマ、CM等の音楽を作編曲する。代表作として映画に「FLOWERS」「赤い月」「あ・うん」、ドラマに「心はいつもラムネ色」「純ちゃんの応援歌」「さよなら李香蘭」、アニメーションに「ジャングル大帝」、CMに「セキスイハイム」「味の素ほんだし」等。アジア太平洋映画祭最優秀音楽賞、日本アカデミー賞優秀音楽賞を2度、日本アニメ大賞音楽部門最優秀賞、ピクチャーヒット賞をそれぞれ受賞。また、演奏活動はハーブやピアノでのスタジオワークを中心に、コンサート、TV、イベント出演等、ジャンルを問わず多岐にわたる。ソロCDは「ハーブと波によるリラクゼーションミュージック」等5枚をリリースしている。



泉鏡花 いずみきょうか(1873-1939)

金沢生まれ。本名・鏡太郎。北陸英和学校中退。1890(明治23)年上京、翌年から尾崎紅葉に師事。95年発表の「夜行巡査」「外科室」が「観念小説」と称され一躍新進作家となり、作家としての地歩を確立する。以後、浪漫的・神秘的作風を強め、明治・大正・昭和を通じて独自の境地を開いた。生誕百年の1973(昭和48)年には金沢市により泉鏡花文学賞が創設されている。

主な作品に「照葉狂言」(1896)、「高野聖」(1900)、「婦系図」(1907)、「歌行燈」(1910)、「夜叉ヶ池」(1913)、「海神別荘」(1913)、「天守物語」(1917)、「由縁の女」(1919)、「薄紅梅」(1937)、「縷紅新草」(1939)など。



◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 9:00~17:00)

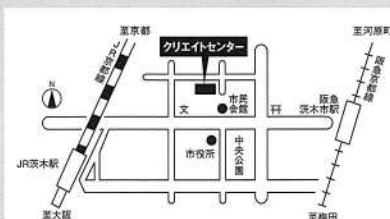
*財団の発売初日は電話予約のみです。お席はお選びいただけません。

*予約後は、1週間以内に市民会館またはクリエイトセンターチケットカウンターでご精算ください。

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

(払込口座) 00970-7-190576/加入者名:財団法人茨木市文化振興財団

◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター) 茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木駅から西へ徒歩10分。